

人から人へ 文化を継ぐ… 先人に学び現代へ！

角館の押絵雛と郷土画人

押絵は下絵をもとに重なり部分をつけた型紙に裂き紙を貼り、その間に綿を入れて立体感を出して仕上げる人形で、初めは女官や奥女中など高貴な女性たちから始まりました。

やがてこの技法は庶民層にも広がり、貴族や武士のように京人形のお雛さまなど望めなかった人々の間で盛んになりました。女性のたしなみの一つとして始まった押絵が、次第に老若男女に浸透し、各地で習い事の域を越えた見事な押絵が作られるようになりしました。

角館でも江戸時代後期に始まり、明治・大正期に隆盛をみしました。特に日本画家平福穂庵を代表とする郷土画人や、祭りの人形師などが面相を担当した押絵は完成度も高く芸術性にあふれた人形が作られています。

押絵は、内裏雛・官女などの雛ものや、桃太郎などの縁起もの、童話ものと多岐にわたっていますが、角館では芝居好きが多く忠臣蔵・菅原伝授手習鑑・勧進帳といった歌舞伎ものが多く作られています。

以前は各家々で雛壇一杯にこうした押絵が飾られ、背景には綿絵が配されていました。華やかに桃の節句を祝っていたのでした。

角館押絵雛



外町史料館「たてつ」

外町史料館(たてつ家)内に、押絵とともに平福穂庵や百穂が描いた下書き(下絵)が展示されています。押絵の製造工程で下書きと面相描きは画家に依頼、画人が多くいただけに押絵は多岐にわたっていたことでしょう。

旧家たてつ家座敷に代々受け継がれてきた明治時代の内裏雛や押絵が展示中です。史料館と併せてご覧ください。場所は角館桜皮細工センターから入りすぐです。入館は無料。

写真／上:復元される穂庵が描いた下書き(下絵)
左上:外町史料館入口
左下:たてつ家座敷に飾られた雛人形
右:史料館に展示されている往時の押絵

※本文の一部は角館樺細工伝承館発行の「角館のひな人形」より転載しています

画家は面相、私は衣装 伝統の分業で 押絵文化を伝えたい



▲たてつ家収蔵の夜鷹の押絵を復元。増田さんと山田さんの合作

【増田さん談】

私が押絵をはじめたいと思ったのは、6年前に樺細工伝承館で展示された押絵を見たのがきっかけです。美しく格好の良い押絵を見て圧倒されました。今やっている数少ない方の一人に話を聞きに行き、見よう見まねで始めました。自分も初心者ののに押絵を広めたくて、突然教室を開いたりもしました。

ここで、「たてつ」さんに收藏されている平福穂庵の押絵に魅せられていた私は、これを画人の手を借りて復元してみたいと思うようになったのです。

たてつさんから穂庵の下絵をお借りし、それを日本画家の

▼穂庵の下絵から型紙をおこして押絵に

今また、押絵をつくる人たち

企画・押絵 増田 昌子さん
面相描き 若手日本画家 山田美知男さん

いくつか作るうちに、下絵の形が出来上がりにそのまま現われること、面相は素人ではそれなりということなどを強く感じました。当たり前なのですが、先人の秀作がいかに素晴らしいかを目の当たりにしました。そ



山田美知男さん(角館町上菅沢住)に彩色再現をお願いしました。その仕上がりを待って、それをもとに押絵の製作に入りました。もちろん面相は山田さんによるものです。

やはり本職の腕はすばらしいですね。自分には到底出来ない生き生きとした表情の面相を描いてもらい感動です。衣装づくりなどにも今まで以上に熱が入りました。

技術もそうですが、分業にしていた製作方法など、先人からの文化を学び、私たちが少しでも引き継いでいけたらと思っています。

雛人形コレクター・佐藤正美さん

復元！お雛さま



角館のお祭りの人形師、佐藤正美さんは雛人形のコレクターでもあります。6〜7年前、角館の旧家から江戸後期に作られた古今雛の修理を依頼され、やってみたらいけそうと、以来年に2〜3体手がけています。

譲られたり、骨董屋で求めた雛人形の中には髪の毛が抜け落ち、形も整っていないものもありますが、『女冠』と自らそう呼んでいる頭の飾り部分には手をかけ、鮮やかに甦ります。「日本の文化を後世に伝えていきたい」と意欲的で、傷んでいた古い雛や享保雛が生き返ったように再生させています。



角館 雛情報

「享保雛」と「古今雛」



享保雛は、世の中が太平を謳歌していた江戸中期の享保年間に京都で作られた豪華な雛です。衣裳の生地は金襴や錦を使い、やや膨らんで大きいのが特徴です。しかし、その反動で贅沢を抑えた俵約令が出され、その後流行したのが古今雛です。



古今雛は明和年間(1764)に江戸で売り出されました。写実的な顔と刺繍が施されたきれいな装束で京都や大阪でも人気を集め、江戸末期には雛の目に水晶やガラスをはめ込むなど、作りも精巧に。明治以降の雛人形はこの古今雛に習ったものと言われています。

※上の写真の雛人形は「かつらぎ」で展示予定

角館の雛人形(樺細工伝承館企画展)

旧家佐竹北家の享保雛や古今雛をはじめ、庶民に広まった押絵など角館に関わる雛人形の企画展を開催します。今回は前ページで紹介している「平福穂庵画の復元押絵雛」も展示する予定です。
会期=2月9日～4月7日 入館料=300円(小・中学生150円)



佐竹北家の享保雛

角館の武家や豪商の家々には、享保雛・古今雛などの古いお雛さまが大切に伝えられ、樺細工伝承館で展示します。

特に江戸時代を代表する享保雛は、江戸中期の享保年間(1716～1736)頃に流行した内裏雛です。衣裳は金襴や錦をつかった豪華なもので、男雛は束帯に似た装束で、両肘を極端に張り、太刀を佩き、笏(しやく)を持っています。女雛は五衣・唐衣姿で、赤い袴に綿を入れてふくらませ、松扇を持っています。その当時は、人形や道具類を緋毛氈のうえに飾り、雛壇を設けなかったで人形は大型に作られたようです。享保雛は豪華で重々しい様子と能面のように静かで神秘的な表情が特徴の気品にみちたお雛さまで。

また、佐竹北家には竹田人形という珍しい人形も伝わっています。この人形は寛文2年(1661)から始まった大阪竹田近江の操り人形を模したもので、誇張した表情や姿態に特徴があります。今から200年以上前に製作された人形です。

角館のお雛さま「概略」

角館には江戸時代より数多くのお雛さまが伝えられています。佐竹北家などの旧家には、京都や江戸から持ち込まれた享保雛や古今雛といった高い格調を誇る古雛が数多く残されています。また、それに付随した難道具も時代を感じさせる由緒ある品々が伝えられています。

一方、庶民の間では手作りの押絵が雛壇を飾りました。製作に当たつての下絵や面相は、平福穂庵・百穂親子等、多くの郷土画人が関わり、完成度を高めてきました。



京都から佐竹北家に贈られた「貝合わせ」。神経衰弱に似たゲームとしても遊んだ



土人形

かつらぎ(仙北市商工会角館本所)

雛人形コレクター佐藤正美さんが収集し修理した享保雛や古今雛、市民所有の角館の押絵雛や秋田の土人形、竹田人形、さらには子どもたちによる雛まつりぬり絵作品などを一堂に展示します。
会期=2月22日～3月20日 入館無料

角館 雛めぐり

今年で4回目を迎えるガイド付き「角館雛めぐり」が今月22日から3月10日まで行われます。県や市、商工会、観光協会、内陸縦貫鉄道、歴史案内組合などで構成する角館雛めぐり推進委員会・堺研太郎委員長が主催です。

この事業は平成18年、中心市街地の活性化を目的に実施した賑わいイベント「商店街のひな人形展」をきっかけに発展。内容も向上し、冬季観光対策としても注目されています。由緒ある雛人形はもちろんですが、楽しそうで意外なものも公開され、また、昼食の雛御膳を含めたコースも用意。予約が必要でお申込み先や詳しいことは下記をご参照ください。

お問い合わせ お申込み

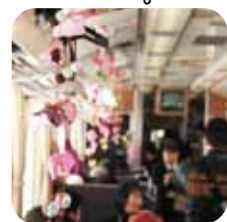
仙北市商工会角館本所
TEL(0187)54-2304
FAX(0187)54-2305
[平日/9:00～15:00]

- 下記A、Bコースも、2名様以上で2日前までにお申込みください。
- 料金は受付の際にお支払い願います。
- 駐車場をご利用の方は予約時にお知らせください。 ※なお、当日キャンセルの場合はキャンセル料が発生します。

Aコース	所要:約2時間
	出発時間①10:00②11:00③13:00
Bコース	所要:約2時間+雛御膳
	出発時間11:00(1日1回)
Aコース	料金●お一人様1,000円 入館料含む
	料金●お一人様3,500円 入館料 雛御膳代含む

おひな様列車 内陸線の旅

秋田内陸線列車をつるし雛などでデコレーション。車内はお雛さま一色に飾られ、楽しいイベントやサービスも企画されています。ご家族やお孫さんと一緒にいかがですか。阿仁合駅すぐの銀山亭や鷹巣の商店街でも雛人形が飾られます。車窓風景とともに内陸線の旅をぜひどうぞ。



期間 2/23(土)→3/3(日)
急行もりよし1号 阿仁合 9:17→角館10:23
急行もりよし2号 角館12:17→鷹巣14:16

かくのだて歴史案内人がガイド[要予約]
2/22[金]→3/10[日] 展示期間は→3/20[祝・水]



関連企画のご案内



直売会
会場●立町ポケットパーク
期間●2月27日→3月3日

角館雛めぐり期間中、盛り沢山のお楽しみイベントが繰り広げられます。22日には10時より商工会「かつらぎ」で雛めぐりオープンングセレモニーとして、もちつきや子どもたちによる唄や踊りが披露され、お梅ちゃんも登場する予定です。

この他にもかくのだて根つこの会による「手作りお雛餅直売会」や親子で楽しむ「ひなパン・ひなクッキー教室」が計画され、今回初試みの木製スタンプも話題となりそうです。